

広報
ABU

あ
ぶ
い



「町の話題
(若者交流グループSANYI-ABUの
「スノーボードやらない会?」) P11

若者交流



●まちづくり懇談会

P2~4

●県民活動パワーアップセミナー

P5

●福賀高齢者福祉複合施設名称募集

P9

発行 ●阿武町役場 編集 ●阿武町役場まちづくり推進課
Tel 08388-2-3111 URL <http://www.town.abu.lg.jp>
印刷 ●(有)松陰堂印刷所

No. 560

平成30年2月20日

2

Feb. 2018

まちづくり懇談会



町内13の自治会グループで行う平成29年度まちづくり懇談会が1月18日の宇田浦自治会からスタートしました。各地で活発なやりとりがされています。

Q. 他地区の小自治会は均一的に統合をすべきでは。

A. 福賀地区では自治会長からの4人の代表者と、今後の自治会のあり方について検討を進めている。(総務課主幹)

Q. 我々の認識では、町から自治会制度・統合の申し入れがあつたと記憶している。

A. 自治会統合は町が強制したものではない。小さな自治会は役員も輪番制で、1年過ぎれば良いとなつていて。「それで本当に良いのか、これからどうしていけば良いのか」を話し合つた結果である。(町長)

Q. 小世帯自治会は均等割の恩恵が大きく、また集落単位を乗じる特別措置により、統合したとしてもその恩恵は大きく公平性に欠くため、廃止を。

A. 今後統合の動きを考えた時に、地域の理解が得られないと思われるため、当面は現在の要綱どおり対応。(総務課主幹)

Q. よよそ100世帯といふ大世帯を、これからまとめていく人材があるだろうか。

A. 分母を増やしていくこと

で見つけやすくなる。条件をそろえた上で、分母を増やせるよう話ををしていきたい。(町長)

Q. 宇田郷定置網第2弾として、雑魚を含めた魚の加工場及び冷凍保存設備を作つて欲しい。

A. 加工・販売は町としても望んでおり、バックアップしていきたい。(経済課長)

ただ、役場で作るということはない。気概を持つた人にはやつていただきたいし、そういった方を見つけるのも我々の仕事。(町長)

Q. ナベル並みの企業誘致を。

A. 今後は1/4worksなどの「しごとを作る」ことにも力を入れたい。最初は小さくスタートし、大きく育てる方向を模索中。また、各地ふるさと阿武町会に出向き、町出身者のネットワークを拡大、町ゆかりの企業訪問などを行っている。(まちづくり推進課長)

Q. 宇田郷地先海域利用の魚介藻類の養殖と、漁場の開拓を。

A. 近年はキジハタ稚魚放流の補助を実施。間伐材魚礁の製作及び設置は、県の補助が

ある限り漁協の意見を聞きながら実施していく。(経済課長)

Q. 宇田郷の海、山、旧跡を活用したイベントなどの観光資源の開拓を。

A. 今年度から萩ジオパーク構想推進協議会へ会員として参画。地域の魅力を再発見することで、地域の活力となるような取組が必要。参加及び協力をお願いする。(経済課長)

Q. 町外から就漁する場合、置網に就漁者が来ている。この幅を広げて欲しい。

A. 助成金は国の制度であり、引き続き活用してもらいたい。漁業に限らず後継者問題は、他人に継いでもらうことも一つの方法。(継業)町として仕組みを作つていただきたい。(町長)

Q. コンクリート製魚礁は環境的に良くない。福賀の木の間伐材や孟宗竹で作つてみては。

A. 面白い話だと思うので、研究させていただきたい。(町長)

Q. 斎藤医院受診後、帰りのバス便まで待つ時間が長い。

A. 現行ダイヤは薬局での調剤や、診療が長びく可能性を

勘案したもの。利用者の声を聞き、改善に努めていく。道の駅自体も、買い物だけでなくそこで楽しめる工夫が必要。(まちづくり推進課長)

Q. サル被害について、町として何か方策は。

A. 今までには追い払っていたが効果が薄い。県が「鳥獣害に強い集落づくり」という事業を用意しており、来年度予算が許せば、猿の習性を利用した移動可能な捕獲器の購入に向け準備したい。(経済課長)

Q. 数年後に宇田郷地区の児が1人になる。保育園バスやスクールバスが継続してもらえるか。

A. 一人でも大事な一人なので、当然継続する。(町長)

Q. 安定的な財務状態のなか、将来のために役立つお金の使い方をしてほしい。

A. 将来が不安で貯め続けても豊かさがない。これ以上基金を積む必要はない」と考へる。皆さんのが幸せを感じるための還元や、将来への投資をしようという考え方。(町長)

Q. 道路整備(千歳橋南側)への対応について。

A. 予算計上をしており、議会に諮つていく予定。(施設課長)

まちづくり懇談会



Q. 自治会統合後の均等割に集落数を乗じる特別措置について、5年ごとの見直し（1集落ずつ減）は、町内自治会の統合がせめて半分進んでから行って欲しい。

A. 皆さんは減っていくことをデメリットと思われている。気持ちは分かるが、町としては統合する際のメリットを考えている。5年ごとの見直しは原則に戻していくことで、ご理解をいただきたい。（町長）

Q. 5年ごとの見直し（1集落ずつ減）を続けると、最終的には0になるのか。

A. 原則（1集落）に戻すだけで、0にはならない。（町長）

Q. 自治会活動をするには資金が必要。減額ではなく増額の可能性は。

A. 駐在員制度時は納税貯蓄組合（集落で自由に使えるお金）に約22万円交付していた。自治会制度へ移行及び統合により、約50万円交付している。これは大きなメリットであると考えている。（町長）

Q. 道路愛護（草刈り）作業での集落彩生交付金について、高齢化も進み参加できる世帯も限られてくるため、出世帯数ではなく参加人数で

A. 道路路肩舗装工事を実施することで、負担の軽減に努めている。今年度は町単独予算約2000万円を執行。これからも予算を確保していく。算出根拠（参加人数）については地域を盛り上げる目的や教育の一環で参加している場合等様々なので、担当課で検討させていただきたい。（町長）

Q. 自治会が出来て10年近く経つが、町が考えているような自主性のある自治会制度になっているのか。

A. 定時定路線運行のコミュニティワゴンは、必要な都度方式を検討しているが、オペレーション（配車）が難しい。皆さんからの意見を聞くなかで、今後のあり方を検討したい。（まちづくり推進課長）

Q. 道の駅の出入りで、高齢者の方が左右をよく確認せず道路に出てくることが多い。事故を起こしそうな事態を何度も見ていて。信号機を付けることは出来ないか。

A. 過去にも要望したことがあるが、公安委員会の管轄となり、大変難しい。（町長）

Q. 今回は自治会（グループ）ごとになったが、従来のよきな地域ごとにすれば情報共有が出来る。

A. 要望があれば沿うようするが、近い距離で意見が出さればと考えている。時間延長も構わない。（町長）

Q. 算出根拠（参加人数）については地域を盛り上げる目的や教育の一環で参加している場合等様々なので、参加人数で計算して欲しい。

A. 道路路肩舗装工事を実施することで、負担の軽減に努めている。今年度は町単独予算約2000万円を執行。これからも予算を確保していく。算出根拠（参加人数）については地域を盛り上げる目的や教育の一環で参加している場合等様々なので、担当課で検討させていただきたい。（町長）

Q. 福賀地区の高齢者福祉複合施設について、国や県からの補助金はどれくらいの比率になるのか。また町の負担額はいくらか。

Q. 町営バスとコミュニティワゴンの停留所がふれあいセンターに近づく。町が考えているような時間割は出来ないか。

A. 比率ではなく定額補助となる。事業費2億5000万円に対し1億1000万円の補助予定。残りが町の負担だが過疎対策事業債を活用し、財政負担が減るよう努める。（民生課長）

Q. 道の駅の出入りで、高齢者の方が左右をよく確認せず道路に出てくることが多い。事故を起こしそうな事態を何度も見ていて。信号機を付けることは出来ないか。

A. 過去にも要望したことがあるが、公安委員会の管轄となり、大変難しい。（町長）

まちづくり懇談会



- Q.** 久瀬原は現在4戸。また、空き家は3件ある。以前は移住された方もいたが、交通の便などからか、定住には結びついていない。
- A.** 「家の未来帖」という家を住み継ぐ、冊子を作成中。各自治会や各集落でも「こういう人が来て欲しい」ということを話し合っていただきたい。(まちづくり推進課長)
- 「新しく住宅を作つては」という話もあるが、使える家があるのにそれをほつたらかして新しいものを建てるのはもつたない。人も物も「無い物ねだり」ではなく「あるもの使い」でいきたい。(町長)
- Q.** マンホールの周りが陥没してしたり、塗装が傷んでいるところがあるので補修して欲しい。
- A.** 除雪対策協議会の中で指摘があったものは昨年直しだ。残りについても、雪が溶け次第補修する予定。その他についても施設課に連絡をもらえば、補修剤で直せるものは対応。面積が大きくなれば業者依頼も検討。自治会ごとに取りまとめて、報告してもらえば対応しやすい。(施設課長)

- 6月からされたが、萩市議会は全て終わるまでやつていい。なかなか議会傍聴に行くこともできないので、議会を町民に知らせることも考えて検討して欲しい。
- A.** 昨年3月議会に提案があり、6月から一般質問の放送を開始。9月議会からは、萩市と同じように一般質問を含め議場で行われた全てを流している。3月議会からは3方向から撮つたものを流す予定。(副町長)
- Q.** 車を運転できなくなつたら、病院に行くのはどうしたら良いだろうか。
- また、経済特区という国事業があり、あるところではタクシー協会を作つて、車の運転ができる人を空き家に連れてくるという方法があると聞いた。個人でタクシー事業ができるようにならないか。
- A.** 昨年からコミュニティワゴンを堀越まで運行できないかという提案をいただいていた。前向きに検討していきたい。
- 特区の提言もあつたが、交通のやり方も色々ある。例えば自治会やNPO等の団体がオペレーション可能であれば許可を取つた上でタクシーの

- 運行もできる。今後も皆さんと話をしていきたい。(まちづくり推進課長)
- Q.** ふるさと納税はどの程度入つてあるのか。また、何に使われているのか。
- A.** 平成28年度、29年度ともに1000万円程度の寄付をいただいている。そこからお礼の品を出すなどして、残り3割程度が使える金額。これ財源に先般「阿武のむかしばなし」を製作。これから寄付のあり方(使い道)を検討していきたい。(まちづくり推進課長)
- Q.** イージスアシヨアについてどう考えているか。
- A.** 国や県から周辺市町への説明があつてしかるべき。これを受けて判断していきたい。(町長)
- Q.** 水害の際の避難道路をどう考えているか。
- A.** 亀山十王堂線は国の予算がなかなかつかず事業実施できていない。以前お示ししたものは仮の図面。補助が着いた際には、正式に測量等も始める。決まった場合は、自治会等に説明に参りたい。(施設課長)

- A.** 毎年県の方へ要望してい。県の単独予算なので、どこまでできるかはわからないが、ここまで掘つてほしいという箇所があればお知らせいただきたい。(施設課長)
- Q.** 中学生や高校生など、若い人を対象にまちづくりのアンケート等をとつてみては。
- A.** 前向きでありがたいご提案。定住促進・子育て支援も、「なぜ若い人にばかり力を入れるのか」と言われることもある。このまちが続いて行くことが大切。年配の方も、町にどんな貢献ができるか考えてもらいたい。(町長)
- Q.** 自治会長には事務的なことがないように簡素化してほしい。
- A.** 文書の簡略化や、量も必要最小限にするよう努力する。(町長)
- Q.** 婦人会の役をやるのが嫌で、やるくらいなら婦人会をやめるという方もいるが。
- A.** 婦人会のブロック割りもどうして行くか、活動しやすい組織を皆さん総意で作つていただければと思う。
- 目的や活動がはつきりすればまちを作つていいこうという思いに繋がる。(教育長)

関係人口を増やそう

農村漁村再生に向けた

明治大学農学部教授 小田切徳美氏



小田切徳美 教授

県民の社会貢献活動参加を促進させるため「県民活動パワーアップセミナーin阿武」が1月24日(水)、町民センターで開催され、町内外およそ130人の参加者が明治大学農学部教授の小田切徳美氏の講演を聴講しました。

見えてきた「再生」の方向
農山漁村を再生し、地域づくりを進めるためには3つの柱が必要である。それは①暮らしのモノサシづくり(主体づくり―主役)②暮らしの仕組みづくり(場づくり―舞台)③カネとその循環づくり(条件づくり―シナリオ)である。これらは農山漁村が都市に先んじて行っている地方創生(まち・ひと・しごと)とも言える。都市農山漁村交流には、来たお客様が地域の宝を発掘する「交流の鑑効果」が期待できる。また、この交流は意外と持続性があり、リピーター率が

高い。このことから、交流というものの自体が産業として成り立つことがある。
吹いてきた追い風
内閣府が行つた世論調査では、都市部の若者や子育て世代で移住(農山漁村で子育て)を希望する傾向が強まっている。実際に、移住者数は2009年度から2014年度までの5年間でおよそ4倍。しかし、岡山県や鳥取県など上位5県で全国の48%を占めており、大きな地域差が生まれている。このことから、今、阿武町で起きている移住定住の動きは、当たり前のことではなく全国的に見るとごく限られた地域での貴重なことと言える。

地元住民からすると「なぜよそ者を優遇するのか」という思いが少なからずあり、移住策に疑問を持つ傾向がある。しかし、Iターン者は
さらに新たな動き
関係人口においては、目先のお金や仕事の問題よりも、長期的・安定的な仕事や教育費など「家族目線」を持つことが重要。

小田切 徳美 氏(明治大学農学部)

東京大学大学院博士課程単位取得退学。農学博士。高崎経済大学経済学部助教授、東京大学大学院助教授を経て、2006年より現職。専門は農山村再生論。

日本学術会議会員、国土審議会委員(国交省)、過疎問題懇談会会員(総務省)等を兼任し、農山村をはじめとする地域再生のあり方や政策について具体的な政策提言も行っている。

SNSなどを活用し地域の日常(あるいは非日常)を情報発信している。この情報を見た地域外に出た人たちが「地元には仕事がないと言うけれど、仕事は作るものなんだ」「この人のような暮らし方が地元で出来るんだ」と知り、Uターンや孫ターン、さらにはRターン(その地域にRoot(ルーツ)がある)が増える。
「地域に貢献したい」「自分でやりたいことを実現したい」など、移住者の目的は一つに留まらず、まさに十人十色。それゆえに地域と移住者がミスマッチが発生しやすい。先日、町が参加した移住ドラフト会議は、これを避ける最良の方法ではないだろうか。
移住施策においては、目先のお金や仕事の問題よりも、長期的・安定的な仕事や教育費など「家族目線」を持つことが重要。

いく。移住定住施策はその段差を小さくしていくこと。まずは関係人口(移住の裾)を拡げていくことが重要。「定住するつもりがないなら関わる必要がない」という考え方を止めるべき。そして関与を飛躍的に高める手段が地域おこし協力隊である。
ライフスタイルの多様化や、SNSによる関わり手段の高度化に加え、関わること・つながること自体に価値を見いだしている「関わり価値」が発生。関係を持続化するためには受け皿の整備が必要で、都市と農山漁村の新たな関係の構築が求められている。

第2回「関西・東海ふるさと阿武町会」が開催

関西・東海圏在住の阿武町出身者で組織する阿武町の同郷会、「関西・東海ふるさと阿武町会」が1月20日(土)大阪駅近くの「パンダリア」で開催され55人が参加しました。大会では会長の伊藤孝さん(宇田浦出身)が「この会でしっかりと旧交を温めてほしい」とあいさつ。来賓の花田町長は、「人口減少を抑えるため若者定住や雇用創出、まちの魅力創出に取組んでいる」とあいさつ。また山陰道の進捗や県道益田阿武線の改良について報告しました。

懇親会では参加者の自己紹介や近況報告のほか広報あぶくみや特産品販売があり、最後は3地区の出身中学の校歌を生ギターの伴奏で斉唱するなど、旧交を温めて大いに盛り上がらりました。



町長へ答申書を渡す田中委員長(右)

田中委員長からの「本を読めるだけでなく、地域のふれあいや集いの場所になつてほしい」との要望に、花田町長は「施策展開する中での重要な判断材料となる。今まで以上に意を用いて取り組んでいただきたい」と答えました。これを受け、町長の指示のもと、平成30年度から関係の所属課間で具体的な話を詰めていく予定です。

「関西・東海ふるさと阿武町会」は、町出身者だけでなく広く阿武町を応援していたただける方もサポート一員としており、今回は東京ふるさと阿武町会幹事長の三浦孝夫

さんも応援に駆けつけたほか、関西山口県人会のメンバーの参加もあり賑わいました。

ふるさと阿武町会は阿武町出身者ならどなたでも参加できます。

お問い合わせは「関西・東海ふるさと阿武町会」事務局(村上090-8522-15389)または阿武町役場まちづくり推進課 ☎ 0838-812-3111まで。

最終回と位置づけた今回は、事務局が取りまとめた答申案を協議。各委員が点検した「町民ニーズ・実現性」など5つの充実要素による優先度集約結果が示され、全54項目中上位11項目はサービス(ソフト)充実に関することが多くを占めていました。

今回協議された内容を追加及び一部修正し、2月9日(金)に役場2階公室で、花田町長へ「阿武町に相応しい図書館等のあり方について」の



最終回で答申案を確認(1月24日)

建設よりもサービスの充実を図書館等整備のあり方検討委員会が答申

1月24日(水)に町民センター講座室で、第4回図書館等整備のあり方検討委員会が開催されました。

最終回と位置づけた今回は、事務局が取りまとめた答申案を協議。各委員が点検した「町民ニーズ・実現性」など5つの充実要素による優先度集約結果が示され、全54項目中上位11項目はサービス(ソフト)充実に関することが多くを占めていました。



多子世帯応援保育料等軽減事業助成金について

保護者の方が扶養している子どもが3人以上いる家庭について、負担された第3子以降の子どもの保育料を所得区分階層に応じて全額または半額を助成します。

【助成割合】	所得割課税額97,000円未満	⇒ 全額
	所得割課税額97,000円以上	⇒ 半額

今年度分の保育料が対象となると思われる方には、3月上旬に申請書類を送付しますので、ご確認をお願いします。

◆問い合わせ 役場民生課 介護福祉係 ☎ 2-3115

金賞の「はちみつ漬け」



「梅干しの自家製はちみつ漬け」で 町生改連竹内宏子さんが金賞を受賞



受賞された竹内さん

内宏子さん
(79歳・宇田
プリ)で、竹地
域自慢の知
恵・技グラン

1月22日

（月）に開催された「わが地
域自慢の知
恵・技グラン
プリ」で、竹内
宏子さん（79歳・宇田
地）が金賞を受賞されました。
これは地域に受け継がれる知恵や技を
次世代に伝えていこうと、県生活改善実
行グループ協議会が初めて開催したもの
です。

今年度のテーマは「漬け物」で、県内
生改連から選りすぐりの計34品を参加者
約110人が試食して投票した結果、頂
点に輝きました。

竹内さんは「土用干しした梅にシソの
葉・蜂蜜・梅酢を加え、約2ヶ月で完成
しました。友達から試食して投票した結果、頂
点に輝きました。

品しましたが、まさか金
賞をいただけるとは思い
ませんでした。塩を控え
めにしているので、県が
取り組む減塩にも少しは
貢献できていればと思
います。これからも地元で
採れた安全安心な食材
を、創意工夫で商品開発
していきたいです」と話
しました。

勲章



勲記



故・中野 靖さん
の
功績が認められました。

故・中野 靖さんは平成3年4月、町議会議員に
初当選。以来平成22年7月まで7期、19年余りの長
きにわたって町政の発展に尽力されました。

この間、副議長、議会運営委員会委員長及び副委
員長の要職を歴任され、生活基盤の整備、産業基盤
の整備、住民福祉の向上と地方自治の進展に多大な
貢献をされました。



元阿武町議会議員の
故・中野 靖氏

（上東
郷、平成29年10月11日
逝去）に、このほど旭

日単光章が追叙され、
2月2日に役場公室で
花田町長からご遺族に
勲章などを伝達しまし
た。

故・中野 靖氏に 旭日単光章を追叙

特別障害者手当・障害児福祉手当をご存じですか？

重度の障害のため常時特別の介護を必要とされる方に次の手当が支給されます。※特定の施設に入所している場合や、受給資格があっても、請求しない場合は受給できませんのでご注意ください。

【特別障害者手当】

○対象 身体、精神の障害の状況が著しく重度なため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の20歳以上の方（入院が3ヶ月以上継続するときは対象外。所得制限有。）

○支給額 月額26,940円（平成30年度）

【障害児福祉手当】

○対象 身体、精神の障害の状況が著しく重度なため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の20歳未満の方（障害を事由とする年金を受給されている方は対象外。所得制限有。）

○支給額 月額14,650円（平成30年度）

◆問い合わせ 山口県萩健康福祉センター ☎0838-25-2664
阿武町役場民生課 ☎08388-2-3115

平成30年秋
福賀地区に
開所予定!!

『高齢者福祉複合施設』の名称を募集します!

高齢や要介護状態となってもいきいきと元気で暮らし、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、現在JAあぶらんど萩福賀集出荷場横に、認知症グループホーム・小規模多機能型居宅介護・生活支援ハウスの各事業所・介護予防拠点を持つ高齢者福祉複合施設を建設中です。



平成30年秋に開所する予定で、それに先立ちまして施設の名称を募集します。

【応募方法】 役場窓口備え付けの応募用紙に、施設の名称・理由と応募者の住所・氏名等を記入のうえ、役場民生課又は各支所まで提出。(郵送も可能)

【応募〆切】 3月31日(土)まで、福賀地域のイメージに添う親しみのある名称をお待ちしております。

【結果発表】 「名称選考会議」にて選考し、ホームページまたは町広報等で発表します。

【問い合わせ】 阿武町役場 民生課介護福祉係 (〒759-3622 阿武町大字奈古2636番地)

☎08388-2-3115 FAX.08388-2-2090 Mail:minsei02@town.abu.lg.jp

協働すすめ、地方創生の実現へ 萩山口信用金庫と包括連携協定を締結



固い握手を交わす
花田町長と萩山口信用
金庫の小田村理事長(右)

協力し、協働
した取組みを
行うことで地
方創生を実現
することを目的に2月6日(火)、萩山
口信用金庫との「地方創生に係る包括
連携協定」の締結式が行われました。

これは、「地域の産業振興及び地域
経済の活性化に関すること」や「定住
促進及び子育て支援に関すること」な
ど5項目の協定を結ぶもので、今後は
信用金庫が町起業化支援補助金交付者
へ助成金の上乗せや、柳橋分譲宅地の
住宅取得に伴う住宅ローン貸出金利の引き下
げなどに取り組むこととなります。

協定締結を終え、花田町長は「皆様方の持つ
ておられるノウハウをしつかり活かしていただき一
緒に地方創生に取り組むことが一番の近道。こ
の協定締結は大変意義深い」とあ
いさつ。小田村理事長は「地域に
根ざした金融機関として来年創立
100周年を迎える。町が取り組
む事業の推進、地域活性化施策の
向上に貢献したい」と話されました。

萩山口信用金庫は県内の各市町
及び山口県とも協定締結を進め
おり、本町は4番目です。



協定書に署名を交わす

春季全国火災予防運動（3月1日～7日）

果となりました。（消防庁調べ）

平成29年6月1日現在、萩
管内の住宅用火災警報器設置
率は81%です。尊い命、大切
な財産を守るために住宅用火

火災が発生しやすい季節を
迎えるにあたり、火災予防意
識を高めることで、火災の発
生を防止し、尊い命を守ると
共に財産の損失を防ぐことを
目的としています。

昨年、阿武町を含めた萩管

内では、25件の火災が発生
し、前年（34件）に比べると
9件減少しました。

◎火災予防運動関連行事

・土原保育園児による防火パ
レード 3月3日(土)午前11時～正午、田町商店街

・火災予防作品展 2月28日
(水)～3月7日(水)午前9時
30分～午後5時、ジョイ20

1（田町商店街内）

◎住宅火災を知らせる住宅用 火災警報器！

平成28年中の全国の住宅火
災の件数は総出火件数の3割
ですが、住宅火災による死者
数は総死者数の約7割を占め
ています。また、住宅火災に
おける被害状況を分析したと
ころ、住宅用火災警報器が設
置されている場合は、設置さ
れていない場合に比べ、死者
の発生は約4割減、焼損床面
積、損害額は概ね半減した結

な作動確認を！

「いざ」というときに住宅
用火災警報器が適切に作動す
るように、火災予防運動時期
などに、定期的に作動確認を

行い、適切に交換を行うよう
習慣づけましょう。なお、電
池切れと判明した警報器が設
置から10年以上経過している
場合は、本体内部の電子部品
が劣化して火災を感知しなく
なることが考えられるため、
本体の交換を推奨しています。

◎住宅用火災警報器設置調査

火災予防運動期間中、設置
状況等を確認するため、地域
の消防団員が、無作為に抽出
した家庭に訪問します。

にご協力ください。

火災予防運動期間中、設置
状況等を確認するため、地域
の消防団員が、無作為に抽出
した家庭に訪問します。

▼問い合わせ

萩市消防本部予防課
☎0838-25-2798

阿武小学校と恵寿苑でうましお講座 理想の塩分摂取量を勉強

働き盛り世代の健康づくりを応援するため、1月22日(月)に阿武小学校で給食食べちゃおう会をうましお講座を、1月24日(水)には阿武福祉会職員の方々を対象に講座を実施し、それぞれおよそ10人が参加しました。

阿武小児童と一緒に食べちゃおう！
学校では上田栄養教諭から「出汁や素材本来の甘み」を活かすことを教わりました。また、フードモデルや食品の包装容器も用意され、塩分数値を見ては「こんなに塩分が入つていたなんて」と驚いた様子でした。

座学の後は、それぞれで提供している食事を食べ、「調理の工夫で少ない塩分量でも美味しく食べられた」との声も。最後にこれから目標を共有し、心もお腹も大変満足感のある講座となりました。町栄養士は「給食は理想的な食事です。機会があれば住民の方にぜひ食べてほしい」と話していました。



阿武小児童と一緒に食べちゃおう！

講座を、1月24日(水)には阿武福祉会職員の方々を対象に講座を実施し、それぞれおよそ10人が参加しました。



お互いにチェック

働き盛り世代の健康づくりを応援するため、1月22日(月)に阿武小学校で「地産地消給食会【豆腐編】」が開催されました。献立は「鶏のチーズ焼き・ふわふわ汁・梅肉和え・ごはん・牛乳」。(農)うもれ木の郷四つ葉サークルの西村静江さんと上田栄養教諭が来校し、児童たちと給食と一緒に食べたあと、豆腐の作り方や特長を説明し、「現在はかき餅など、おからを使った商品開発をしています。アイデア募集中です」と話しました。



説明する西村さん



美味しい豆腐料理をいただきます

大豆のおいしさ、余すとどうなる？ 地産地消給食会【豆腐編】

1月31日(水)に、福賀小学校で「地産地消給食会【豆腐編】」が開催されました。献立は「鶏のチーズ焼き・ふわふわ汁・梅肉和え・ごはん・牛乳」。(農)うもれ木の郷四つ葉サークルの西村静江さんと上田栄養教諭が来校し、児童たちと給食と一緒に食べたあと、豆腐の作り方や特長を説明し、「現在はかき餅など、おからを使った商品開発をしています。アイデア募集中です」と話しました。

まずは町の動きを知ることから 阿武町女性団体連絡協議会が意見交換会

1月17日(水)に、町女団連とまちづくり推進課が意見交換会を行いました。これは昨年の地域づくり研究集会で出された意見を行政に繋ぎつつ、いまの阿武町の動きを学び、今後の女団連の取組みに活かしていくこうといったものです。

一行は昨年9月にオープンした下請け酒場BARフジヤマと、旧奈古薬局を見学したのち水甚へ移動し、同課と意見交換を行いました。今後も検討を重ね、阿武町を帰つてきたい町にするために女団連が出来ることを具体化していく予定です。

今年の恵方は南南東

Aあぶらんど萩の職員の協力で開催されているもので、今年も「いじわる鬼」「泣き虫鬼」「のろま鬼」「好き嫌い鬼」の4匹の鬼が保育園にやつてきました。

子どもたちはまず、先生から渡された大豆を歳の数だけ食べて、節分の習わしをお勉強。すると突然鬼が保育園にやつてきましたが、豆のかわりにカラーボールを投げつけ撃退。自分たちの心の中にいる悪い鬼を追い出し、「良い子」でこれから生活することを約束しました。鬼を追い払ったあとは、豆を保育園の施設にまいて「邪氣」を払い、今年の恵方である南南東を向いて自分たちで作った恵方巻きを口いっぱいにほおばりました。



鬼を追い出そう!!

4つの誓いで鬼を追い出す みどり保育園で節分豆まき

鬼を追い払い、福を呼び込む恒例の節分豆まきが2月2日(金)にみどり保育園で行われ、園児の元気の良い声が園内にひびきわたりました。



今年の恵方は南南東

みどり保育園で節分豆まき

鬼を追い払い、

福を呼び込む恒例の節分豆まきが2月2日(金)にみどり保育園で行われ、園児の元気の良い声が園内にひびきわたりました。

これは毎年、J

月2日(金)にみどり保育園で行われ、園児の元気の良い声が園内にひびきわたりました。

21世紀の暮らし方研究所 通信

～阿武町版総合戦略を進めています～ TsuQuRoプロジェクト



“やってみたいこと”で盛り上がる話し合い

- 21世紀の暮らし方研究所（通称・ラボ）の第21回講座が1月27日、奈古地区の旧奈古薬局で行われ、11月の全国移住ドラフトで縁のあつた都市部の5人の若者も含む29人が参加しました。

今回は、「奈古薬局でやつてみたいこと」と「あつたら良い・行きたくなるプログラム」について、グループに分かれ話し合いを行いました。各グループの発表では、

 - ・朝ご飯イベントを開催し、町外の人や若者が地域にとけこむきつかけを作つてみたい
 - ・地元ラジオやYouTubeの配信
 - ・おもしろい表情、コスプレ、記念写真など様々なテーマの写真展の開催
 - ・人やモノの情報交換のための伝言板を設置しては？

次回ラボのご案内

お気軽に
ご参加
ください

2月24日(土) 13:30~16:30

場所：旧奈古薬局（阿武町大字奈古2700番地1）
内容：ライフスタイルサミットの準備！

- ★開始20分前までに道の駅阿武町温水プール前に集合していただくと、会場までご案内します。
- ★3月3日に開催する「帰ってきた！僕らのライフスタイルサミット」については広報と同時配布のチラシをご覧ください。

◆問い合わせ 21世紀の暮らし方研究所事務局
(役場まちづくり推進課) ☎2-3111



自然体で言葉を交わす

奈古薬局（仮称：ノタード）は「こんなことをやつてみたい」という様々なアイデアを実現できる場所となるよう、運営方法を検討しています。開所は4月21日の予定です。

など、様々なアイデアが出てきました。今後は、どうしたらプログラムとして実施できるかも検討していきます。



移住ドラフト選手が続々と来町――

この流れは、昨年末から始まつたもので、年末年始でドーラフト指名した2人が来町。1月27・28日の2日間には、指名選手を含む5人が来町しました。

自ら足を運んで、町を知りたい

今回来町した5人の選手は、初日にラボの活動に参加したあと、asta*baseで開催されていた「呑み四駆（お酒を楽しみながらミニ四駆を走らせるイベント）」に参加。町内の漁家民宿に宿泊し、町移住担当者らと意見交換を行いました。また、翌日はセリ市場や空き家見学等を行っています。

各選手に共通するのは、自ら「足を運びたい」と積極的に阿武町への訪問を希望して来たこと。動機は様々ですが、町に興味を持っている若者と今後も密な連絡を取り合い、関係を強くしていきたいと思います。

自ら足を運んで、町を知りたい

今回來町した5人の選手は、初日にラボの活動に参加したあと、*asta*base*で開催されていた「呑み四駆（お酒を楽しみながらミニ四駆を走らせるイベント）」に参加。町内の漁家民宿に宿泊し、町移住担当者らと意見交換を行いました。また、翌日はセリ市場や空き家見学等を行っています。

各選手に共通するのは、自ら「足を運びたい」と積極的に阿武町への訪問を希望して来たこと。動機は様々ですが、町に興味を持つている若者と今後も密な連絡を取り合い、関係を強くしていきたいと思います。

奈古薬局(仮称:阿武町暮らし支援センター)スタッフを募集します

4月に開所を予定している仮称：阿武町暮らし支援センターのスタッフを1名募集します。

- ◆職種 町臨時職員 ◆勤務時間等 8:30~17:15（週4日）
◆勤務場所 奈古薬局及び役場本庁 ◆応募締切 2月28日まで
詳しくは町ホームページ（<http://www.town.abu.lg.jp>）をご覧ください。応募締切：2月28日まで
◆問い合わせ・応募先 まちづくり推進課 ☎2-3111

萩奈 古高 奈古分校 は今

「美味しい
野菜ジュースの
作り方」講習



課題研究
発表会



修学旅行



~これからの学校行事~

★3月の予定
2月28日～3月6日 学年末考査(1・2年次生)
1日 卒業証書授与式並びに継承式
7日 入学者選抜学力検査
9日 面接ガイダンス
16日 進路ガイダンス
20日 終業式

● 「美味しい野菜ジュースの作り方」講習

1月17日(水)に、総合学科2年次生を対象に「草花」の授業で、野菜ソムリエの槌屋幸子先生をお招きして「美味しい野菜ジュースの作り方」講習を開催しました。

生徒たちは2班に分かれ、それぞれに野菜や果物を選び「オリジナル・ジュース」作りにチャレンジ。不安と期待が入り交じる中、できあがりの味を想像しながら野菜を手に取り、試行錯誤しながら様々な組み合せを試していました。

「ホウレンソウやキャベツはクセがなく、どの果物と混ぜても美味しい。」「パプリカは臭いがきつく、ジュースには向かない。」「果物はどれも美味しいけれど、入れすぎると色も香りも悪くなる。」などの感想を口にしながら、ジュースに適した野菜や果物の組み合せを学びました。

● 課題研究発表会

1月18日(木)に、生物資源科学科3年生による課題研究発表会が行われました。これは農業学習の集大成として、専攻ごとにプロジェクト学習の成果を発表するものです。今年度は生産系3班、食品系2班の発表が行われました。

生産系 「見て食べて楽しむ鉢植えトマト」「虫除けハーブで、無農薬栽培は可能なのか?」「ジャングルピーマンについて」

食品系 「食品専攻での学習を振り返って」「地域の特産品づくりを目指して」

3年生は各班で設定した課題について、試行錯誤を重ねながら調査・研究を進めてきました。発表会当日は表現方法にも工夫を凝らし、2年次生に対して分かりやすく発表をしていました。

● 修学旅行～東京方面～

1月23日(火)～26日(金)の4日間、2年次生22名が東京方面への修学旅行に行きました。悪天候の影響で萩・石見空港からの搭乗が、急遽山口宇部空港へ変更になるというハプニングで幕を開けました。しかし、夕刻便の搭乗となつたために東京の夜景を空やバスから楽しむことができ、生徒たちからは「きれい」と感嘆の声がもれていました。

2日目は、午前中に羽田空港のANA機体メンテナンスセンターを見学し、午後からは生徒が最も楽しみにしていた東京ディズニーランドに行きました。しかし日常を忘れ、夢と魔法の王国を満喫しました。3日目は国立西洋美術館を見学の後、班別自主研修へ出発しました。各班は事前の計画に基づいて、東京各地を巡りました。最終日は東京スカイツリーを見学しました。天候にも恵まれ、雪化粧をした富士山の美しく雄大な姿を眺めることができました。記録的な寒波に見舞われた東京での4日間でしたが、各自見聞を広めることのできた修学旅行となつたようです。

三公民館だより三

なご

しゃぶしゃぶ鍋 第3弾

1月16日、奈古メンズキッチン

1月講座を、昨年、一昨年と大好評だった「しゃぶしゃぶ鍋」をメンズに開催しました。

今回は、レシピを用意せず、学級生が持ち寄った材料でメニューを決め、必要なものは買ってきて、学級生だけの調理に挑戦しました。メニューは、「ブリしゃぶ」に「あら煮」、「いも煮」、「なます」に「しゃぶしゃぶ」に「手作り丼」に決定し調理開始です。魚のしゃぶしゃぶは3回目とあって、手際よく準備が出来ました。その後、教育委員会の職員も招いて鍋を囲みました。おいしく楽しい会食でしたが、男の料理だったためか、全員おなかいっぱいになり、少し多めの昼食となりました。

ハーバリウム寄せ植え体験

2月6日、奈古若葉学級2月講座〈移動教室〉を開催しました。

今回は萩市で「ハーバリウムと寄せ植え教室」を体験しました。「ハーバリウム」とは、ハーバリウムオイルという100%純粋なミネラルオイルで、保湿剤の材料にも使われているオイルの中で植物を保存する「植物標本」を意味します。花をガラスボトルに入し蓋をします。そのガラスボトルに光が当たると、光の一部が反射され、花が一層美しく見えます。

学級生は、それぞれハーバリウムを二瓶と寄せ植えの体験をしました。



美しい作品に仕上がりました



どの花にしようかな？



豪華な昼食



さばくのはまかせちょけ

子育連新春子ども会大会

福賀子育連主催の新春子ども会大会が1月7日(日)、のうそんセンターで開催されました。

積雪が無かつたため雪遊びが出来ず、新年の誓いや願いを込めた手作り丼に挑戦しました。

見本を見ながら、保護者や役員に注意する点を確認し、揚がり具合や安定性を確認しながら丁寧に仕上げていきました。いざ外出しても駐車場では風が弱く上手く揚げることが出来なかつたので、学校グラウンドで再度挑戦。風の流れを掴むため、前後左右に忙しく走り回り、ようやく揚げることが出来ました。汗だくの中にも「工夫し努力する力」を養うと共に、今年一年、元気で心身共に健やかに過ごせるよう願いを込めていました。

消防福賀分団研修旅行

震災から2年弱が経過する熊本の復興状況などの視察を行うため、消防福賀分団の研修旅行が1月27日・28日(土・日)の一泊二日で開催されました。特に復興のシンボルとも言える熊本城では、復元には20年以上かかるといわれる石垣の石材全てに番号が振られ、気が遠くなるような地道な作業に圧倒されました。また、被災され現在も仮設住宅に住まわれている方がボランティアガイドを務めておられ、当時の状況やお城に対する思い、支援に対する感謝とその意義、当事者だから言える被災時と、その後に注意すべき多くの事項を学ぶ事が出来ました。当町で起きた場合、ありとあらゆる状況の中でシミュレーションする」とが出来ました。



先人の知恵に感銘



高く揚がれ

自治会主催で新春の集い

1月14日(日)にふれ

あいセンター多目的ホールで、自治会主催新春の集いを開催しました。

これは、親睦の和を深め、研鑽していくことを

目的として宇田郷地区の自治会結成時から開催しており、地元に貢献されている団体長及び公職等の方々を招待して情報交換を行っています。株式会社宇田郷定置網の廣石芳郎代表取締役から、「目標の水揚げ1億円を達成した」との報告があり、宇田郷地区の活力をひしひしと感じました。

寿齢大学初集会

1月16日(火)にふれあいセンター多目的ホールで、宇田郷寿齢大学初集会を開催しました。毎年、町長と教育長による講話を聴講。テーマは、花田町長は「これから町づくり」、そして小田教育長は「いつまでも笑顔溢れる元気を」。



講話終了後は、皆さんお楽しみの、恒例の親睦会を開催し、会員同志の親睦を図りました。



廣石芳郎代表取締役から嬉しい報告

うたごう



快適な睡眠で健康生活



睡眠は、健康を維持するための大きな要素です。ぐっすり眠ってすっきり起床する。そんな快適な睡眠がとれていますか？

あなたの快眠度をチェックしてみましょう！



- 床に入ってから、なかなか寝つけない
- 朝、すっきり起きられないことが多い
- 昼間に強い眠気におそわれることがある
- しばしば夜中に目が覚めてしまう
- 朝早く目が覚めて、再度眠れなかった

- いつも何となく体がだるい
- 休日はふだんより起床時間が大幅に遅くなる
- 長時間眠ったはずなのに疲れがとれない
- 就寝直前に食事をすることが多い
- 寝酒を飲む習慣がある

☆当てはまる項目が多いほど、あなたの快眠度は低くなります。ふだんの行動を振り返って、快適に眠るための生活改善を行いましょう。

心地よい睡眠を確保するためのポイント



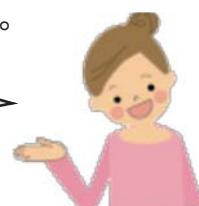
- ☆朝は毎日同じ時間に起床し、規則正しい生活をする
- ☆目覚めたらすぐ太陽光を浴びて体内時計を調整する（夜の寝つきがよくなる）
- ☆朝食をしっかりとり、夕食は早めに済ます
(胃腸が働いているとよく眠れないので、夕食は就寝の3～4時間前までに済ませるのが理想)
- ☆日中は散歩などで適度に体を動かす
- ☆寝る直前にお酒、コーヒー、たばこなどの刺激物は控える
- ☆就寝前は読書や音楽などでリラックスする
- ☆就寝時間に合わせて、徐々に照明を落としていく
- ☆睡眠時間にこだわりすぎない
〔睡眠時間の理想は1日8時間と思われがちですが、適正な睡眠時間には個人差があります。たとえ1日6時間睡眠でも、熟睡感があって日中も眠気に悩まされることがなければ、睡眠は足りていると考えてよいでしょう。また、一般的に高齢になるにしたがって、必要な睡眠時間は少しづつ短くなっています。〕
- ☆昼寝は20分程度を目安に
〔午後に強い眠気を感じたときは、我慢をせず、思い切って昼寝をするのも体のためには効果的です。ただし、昼寝は午後3時までに20分程度にとどめること。それ以上の昼寝は、夜の睡眠にかえって悪影響を及ぼしてしまいます。〕

「不眠」と「うつ病」の深い関わり



うつ病患者の9割に不眠症状がみられたという統計があります。もし不眠が2週間以上続くようであれば、それはうつ病のサインかもしれません。また、慢性的な不眠症がうつ病に移行することもあります。そんなときは一人で悩まず、専門の医療機関やかかりつけの医師に相談するようにしましょう。

「不眠」とは…睡眠に充てる時間があるにもかかわらず、床に入ってもなかなか寝つけなかったり、夜中に何度も目が覚めるような状態を言います。



問い合わせ
役場民生課 保健師
☎2-3113

地域とともににある学校づくり 「阿武町コミュニティ・スクール」

町内全小中学校が、学校運営協議会を設置している学校「コミュニティ・スクール」になって3年目になりました。「コミュニティ・スクール」は、学校運営や学校の課題に対して、保護者や地域の皆さんが参画できる仕組みです。「地域の子どもたちをみんなで育てよう！」という気持ちが、学校の課題を解決するだけでなく、地域を元気にするパワーになります。

平成29年度の取組



学校運営（阿武小学校）

地域の様々な団体の方々を招き、授業参観と給食試食会『給食 食べちゃおう会』を実施。年8回にわたって、学校運営に関する感想や意見をいただいています。

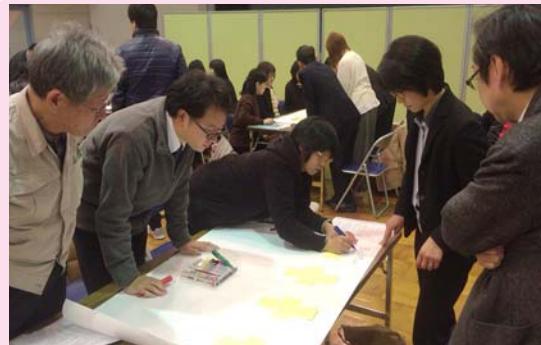


学校支援ボランティアとPTA環境整備部が連携して、緑のカーテン（ゴーヤ）ネット張りを行いました。



地域貢献（福賀小学校）

「福賀大農業祭り」を盛り上げるために、太鼓を披露。その後、学校田で育てた餅米を安価で販売しました。また、来場者へ感謝の意味を込めて無料のマッサージ「孫の手屋」を開きました。



合同研修会（阿武町教育委員会）

阿武町コミュニティ・スクール研修会を実施。阿武町の子どもたちについてみんなで出来ることを話し合いました。

「コミュニティ・スクール」の取組で広がる魅力！

○子どもにとっての魅力！ · 学びや体験活動が充実。地域の担い手としての自覚が高まり、自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

○保護者にとっての魅力！ · 学校や地域に対する理解が深まり、安心感が高まります。保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

○地域の人々にとっての魅力！ · 経験を活かすことで、生きがいや自己有用感につながります。学校が地域のよりどころとなり、防犯・防災体制等の構築ができます。

○教職員にとっての魅力！ · 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現し、地域人材を活用した教育活動が充実します。

魅力ある「地域とともににある学校」をめざし、各学校運営協議会では、これまでの取組を見つめ直したり、新たな取組にチャレンジしています。引き続き、応援をよろしくお願いします。そして、遠慮なく学校においてください！

◆問い合わせ 阿武町教育委員会 ☎2-0501

年金のたより

ご存知ですか?

猶予と追納って、ナニ?

「学生納付特例」制度(ガクトク)

学生の間の保険料を猶予し、
社会人になってから納める制度です。

- ◎学校教育法に定める、大学・大学院・短大・高等学校・専門学校などに1年以上通われている20歳以上の学生が対象です。
*修業年数が1年以上の課程に在籍している方。
- ◎申請には、アルバイトなどで得た前年の所得基準などの審査があります。
- ◎世帯主(親)、配偶者の所得は関係しません。



「若年者納付猶予」制度

保険料を納めるのが難しい50歳未満の方の
保険料を一定期間猶予する制度です。

- ◎50歳未満の方が対象です。(学生は対象外です。)
- ◎申請には、本人(結婚している場合は配偶者を含む)の前年所得などの審査があります。
ただし、同居する世帯主(親)の所得は問いません。



免除・猶予・学特制度を受けた場合、将来受け取る年金額が少なくなります。

将来に受け取る年金額を増やすために

保険料の「追納」ができます。

免除・猶予・ガクトクを受けた場合、保険料を全額納めた場合と比べ、
年金額が減額されます。将来受け取る年金額を増やすために、10年以内
であれば免除等を受けた期間の保険料をさかのぼって納める
「追納」ができます。

*ただし、3年度以上さかのぼって保険料を納める場合は、当時の保険料に一定額が加算されます。

*お申し込みは、年金事務所でお手続きください。

問い合わせ

日本年金機構萩年金事務所 ☎ 0838-24-2158 役場住民課住民係 ☎ 2-0500
日本年金機構ホームページ <http://www.nenkin.go.jp/>

★準優勝 小学3年生男子の部 周南市立沼城小学校 2月11日
★準優勝 小学1年生男子の部 宮崎祐晴(水ヶ迫) 上田怜央(水ヶ迫)

第46回
周北武道柔道大会



準優勝した奈古スポーツ少年団

1月14日
★準優勝 阿武町体育センター 奈古スポーツ少年団

第27回山口県小学生バレーボール新人大会
JA共済杯 萩ブロック大会

表彰席
(敬称略)

「ハートピア共済」中小企業の事業主のみなさん

従業員の福利厚生としてお役に立ちます

加入できるのは、県内の中小企業の勤労者で、契約発効日の前日に健康な方。

月々わずかな掛金で、死亡・障害・入院・住宅災害など保障し、結婚、出産、銀婚、小・中・高校入学祝にも給付します。また、全国宿泊施設利用料助成、人間ドック・脳ドック受診料助成、国家資格試験等受験料助成もあります。

型種(月掛:1人)	1型(450円)	2型(900円)	3型(1,500円)	4型(2,000円)	高型(450円)	F型(500円)
加入年齢		満15歳以上 満65歳未満		満15歳以上 満50歳未満 (満55歳まで 継続加入で きます)	満65歳以上 満71歳未満	満15歳以上 満65歳未満 (子どもは0歳 以上満25歳 未満)
交通事故死亡	240万円	480万円	720万円	1,000万円	100万円	200万円
労働災害障害	最高144万円	最高288万円	最高432万円	最高576万円	最高90万円	最高18万円
不慮の事故入院	1日 800円	1日 1,600円	1日 2,500円	1日 5,000円	1回5,000円	1日 1,000円
病気の入院	1日 500円	1日 1,000円	1日 1,500円	1日 2,000円	~15,000円	1日 1,000円
結婚	5,000円	1万円	2万円	3万円	—	結婚・出産・入学 ・銀婚 1万円
出産	—	—	1万円	2万円	—	

なお、事業所が従業員のために共済掛金を負担された場合は、損金または必要経費として算入できます。

■問い合わせ 阿武町勤労福祉共済会（役場経済課内） ☎2-3114

平成30年の農作業標準料金が決定 参考としてご利用ください

作業目	単位	料金(単位:円)		備考
		ほ場 未整備田	ほ場 整備田	
荒起こし	10アール	7,000	5,500	トラクターまたは耕耘機
くれ返し	〃	4,700	4,000	〃
しろかき(荒)	〃	5,000	3,500	〃
しろかき(植)	〃	6,000	4,500	〃
箱育苗	1箱	750		箱は別、ほ場渡し
田植え	10アール	6,000	5,500	田植機
防除	〃	3,000	2,800	動力噴霧機(薬剤は別)
刈取・脱穀	〃	20,000	16,000	コンバイン
刈取 脱穀 調整	〃	39,000	30,000	コンバイン 乾燥 もみすり
乾燥整	1俵 (60Kg)	生もみ 半乾もみ もみすり	1,800 1,300 900	乾燥、もみすり
農作業賃金	時間	最低	777	—

参考 過去1年間賃借料(10アール当たり)(単位:円) 田の部 畑の部

	平均額	最高額	最低額
奈古	10,000	10,000	10,000
福賀	11,600	15,000	3,000
宇田郷	5,588	6,000	5,000

	平均額	最高額	最低額
奈古	0	0	0
福賀	16,250	20,000	1,000
宇田郷	0	0	0



阿武町農業委員会では、農作業標準料金を次
とおり提供しますので、参考にしてください。
標準料金についての詳しいことは、阿武町農業
委員会(役場経済課内 ☎2-3114)にお問い合わせ
ください。

宇田ふれあいクラブ会員募集

宇田ふれあいクラブでは、平成23年4月から総合型地域スポーツクラブとして「いつでも、どこでも、いつまでも」子どもから高齢者までだれでもふれあえる気軽なスポーツ活動・文化活動を行っています。

総合型地域スポーツクラブは、地域の学校や公共スポーツ施設を拠点に地域が主体となって運営され、身近なところでスポーツを気軽に楽しむことができるスポーツクラブです。

加入されたい方は、宇田郷公民館備え付けの

「宇田ふれあいクラブ会員募集」のチラシ下段“宇田ふれあいクラブ会員申込書”に必要事項を記入のうえ会費等を添えて、宇田郷公民館に提出してください。

【各種大会・教室】

グラウンドゴルフ大会、ソフトバレー大会、スリッパ卓球大会、親子ふれあい教室、エアロビ・健康体操教室、フォークダンス体験教室、ウォーキング、ボウリング大会



山口県自殺対策フォーラム2018

- 日 時 3月11日(日) 13:30~16:00 (受付13:00~)
- 会 場 山口県総合保健会館 2階多目的ホール (山口市吉敷下東3丁目1-1)
- 内 容 講演「だれにでも、こころが苦しいときがあるから～自殺予防教育の実践から～」
講師 シャルマ 直美 氏 (臨床心理士、福岡県スクールカウンセラー)
肘井千佳 氏 (北九州市立思永中学校 教頭)
- 入場料 無料
- ◆問い合わせ 山口県精神保健福祉センター ☎0835-27-3480

暮らしこころの合同相談会

- 日 時 3月11日(日) 10:00~16:00
- 会 場 山口県総合保健会館 1階研修室 (山口市吉敷下東3丁目1-1)
- 内 容 弁護士による相談(多重債務、労働、DV等の日常生活上の法的問題に関すること)
こころの健康相談(こころの病気や心身の不調等の健康に関すること)
- 相談料 無料
- ◆問い合わせ 弁護士による相談: 山口県弁護士会 ☎083-922-0087
こころの健康相談: 山口県精神保健福祉センター ☎0835-27-3480

2月分 町内の求人情報		2月13日現在(すでに決定済みとなっている場合があります。その際にはご了承ください。)			
		●問い合わせ ハローワーク萩・萩公共職業安定所 ☎0838-22-0714			
会社名	求人数	年齢	賃金	業種	
あぶらんど萩農業協同組合	3人	35歳以下	142,200円~	総合職	
株式会社 八代峰月堂(ボ・ヤシロ)	1人	不問	150,000円~	接客及び調理補助(ダイニングCAFE846)	
公益財団法人 山口県栽培漁業公社	1人	不問	時給861円	魚貝類種苗生産の補助(3/1採用)	
	3人			魚貝類種苗生産の補助(4/1採用)	

この春、小学校へ入学する児童の保護者の皆様へ

「福祉医療費受給者証（乳幼児用）」の有効期限は平成30年3月31日までです。「阿武町こども医療費助成制度」へ切り替えの手続きをお願いします。

【対象児童】

平成30年4月に小学校へ入学される児童

【提出期限】

平成30年3月9日（金）まで

※申請書は2月下旬頃、対象のご家庭へ郵送予定です。

【提出場所】

役場民生課または各支所

【持参するもの】

- ・福祉医療費受給者証交付（更新）申請書（阿武町こども医療費用）
- ・健康保険証（受給該当児童本人）
- ・印鑑



◆問い合わせ

役場民生課

介護福祉係

☎2-3115

正誤		正誤		正誤		お詫びと訂正
ます。	訂正	波田	蟹谷	蟹谷	古屋	
深くお詫び申し上げ	でした。	野野	隆隆	郡群	二仁治治	りがありました。初式の中の、表彰者氏名は
						広報1月号で次のとおり誤りがありました。P13消防出誤

阿武町の人口と世帯数

(1月末)

地区別	人口	世帯数	移動内訳
奈古	2,274(2)	1,046(1)	転入 8
福賀	570(-7)	272(-4)	転出 4
宇田郷	550(2)	289(1)	出生 4
合計	3,394(-3)	1,607(-2)	死亡 11

※()内数字は対前月比

みんなでつくろう明日のページ

3月

日曜	行事予定
1 木	阿武町選挙管理委員会 9:00【役場会議室】 ひよこクラブ 9:45【ほっとハウスみどり】
2 金	阿武町議会定例会初日 9:00【議場】 みどり保育園ひなまつり・誕生会・会食 10:30【みどり保育園】 保護者会合同役員会 19:30【みどり保育園】
3 土	ママの会奉仕作業・町長さんと話そう会 8:30【みどり保育園】 徘徊搜索模擬訓練 8:30【宇田郷地区】 ひだまりの里消火訓練 11:00【ひだまりの里前】 福賀月例グラウンドゴルフ大会 13:30【福賀グラウンドゴルフ場】 帰ってきた!僕らのライフスタイルサミットin阿武 13:30【町民センター多目的ホール】
4 日	奈古婦人会総会 8:00【町民センター】
5 火	身体測定・なわとび大会 10:30【みどり保育園】 食の連携会議 14:00【役場小会議室】 まちづくり懇談会（惣郷）18:00【惣郷公民分館】
6 水	食生活改善推進員養成講座⑥閉講式 9:00【町民センター】 奈古ストレッチ学習会 9:30【町民センター】 お別れ遠足 10:30【グリーンパーク他】
7 木	宇田郷のびのびストレッチ楽集会 9:30【ふれあいセンター】 仮入園・ひよこクラブ 9:45【みどり保育園】
8 金	福賀月例ボウリング大会 19:30【ユーズボウル萩】 阿武町立阿武中学校卒業式 9:30【阿武中学校】
9 土	奈古グラウンドゴルフ 9:00【中央公民館】 宇田郷婦人会総会 9:00【ふれあいセンター】
10 日	阿武町民生委員児童委員協議会定例会 8:30【役場会議室】
11 月	健康教室「さくら会」9:00【町民センター】 消費生活相談員による相談日 8:30【役場1階相談室】
12 火	阿武町生活改善実行グループ連絡協議会役員会 13:00【のうそんセンター】
13 水	阿武町議会定例会二日目 9:00【議場】
14 木	心配ごと相談 9:00【町民センター】 ひよこクラブ 9:45【ほっとハウスみどり】
15 金	行財政改革等特別委員会 9:00【委員会室】 福賀婦人会・JA女性部福賀支部総会 8:00【のうそんセンター】
16 土	みどり保育園福賀分園卒園式 9:00【みどり保育園（分園）】 みどり保育園本園卒園式 10:30【みどり保育園（本園）】
17 日	高校生クリッキング2018+ABuQuRoづくり 9:00【町民センター】
18 月	のびのび幼児健診 13:00【母子健康センター】
19 火	阿武町立各小学校卒業式 9:30【各小学校】
20 水	阿武町式花嫁・花婿修行ツアー 9:00【阿武町内】 宇田郷のびのびストレッチ楽集会 9:30【ふれあいセンター】
21 木	ひよこクラブ 9:45【ほっとハウスみどり】 阿武町議会定例会最終日 14:00【議場他】
22 金	ステップ運動教室 13:00【のうそんセンター】 21世紀の暮らし方研究所 第23回講座 13:30
23 土	消費生活相談員による相談日 8:30【役場1階相談室】 介護者の集い 10:00【えんがわ】
24 日	交通安全指導・避難訓練 11:00【みどり保育園】
25 月	奈古ストレッチ学習会 9:30【町民センター】 日本赤十字移動献血 9:30【阿武町役場】
26 火	日本赤十字移動献血 13:15【(株)ナベル山口工場】

1月の交通事故

区分	人身事故			物損事故
	件数	死者	負傷者	
萩警察署管内で起こった事故	8(9)	0(0)	8(9)	190(133)
うち阿武町内で起こった事故	0(0)	0(0)	0(0)	8(4)

()内数字は前年件数

ヘルスメイト☆おすすめ料理



寺東 末益小百合さん

「カルシウムたっぷり骨太レシピ!」より

こうや豆腐の豆乳煮

[材料(2人分)]

こうや豆腐	2枚(33g)	水	約1カップ
豚ロース	100g	調製豆乳(又は無調整豆乳)	”
レタス	1コ	酒	大さじ2
長ねぎ	100g	昆布(5センチ角)	1枚
水菜	100g	ポン酢しょうゆ	大さじ4
えのきだけ	100g	しょうが	1かけ

[作り方]

- こうや豆腐は水で戻して薄切りにする。レタスは大きくちぎる。長ねぎはななめの薄切りにする。水菜は6~7センチの長さに切る。えのきだけは根元を切り落としてほぐしておく。しょうがはすりおろしておく。
 - 鍋に水と豆乳、酒、昆布を入れて煮立て、こうや豆腐を入れて2分ほど煮る。他の材料を加えてさっと煮る。
 - しょうがを入れたポン酢しょうゆにつけていただく。
- ※鍋の大きさによって、水と豆乳の量は調節してください。
- ※好みでポン酢しょうゆにすりごまを入れてもよい。
- ※最後にじゃこやチーズを加えて、ごはんを入れて食べてもおいしいです。



あぶフォト俱楽部

作品は道の駅温泉棟1階に展示中

会員作品紹介

池田 幸枝(大里)
タイトル「立岩を囲う波の華」



コメント: 萩からの帰宅途中に撮影したもので、阿武、萩の境界と言われる立岩に、沖から押し寄せる白波がやさしく綺麗に抱き込む風景を繰り返し、国道の山や車などを背景にシャッターを切りました。

私の一品

コメント: 十二支の干支である「戌(いぬ)」を編んだので、出すことにしました。家の玄関入り口にある下駄箱の上に1年間置きます。



タイトル「戌年、頑張るわん」
大山 トシエ(東方)

次回定例会は2月26日(月)19:00~
町民センター 講座室です

◆問い合わせ あぶフォト俱楽部事務局 ☎2-3111

俳句

宝船	裏返る児をささえ持ち春	掌に薄陽遊ばせ春隣	群青の海穏やかに初茜	ふりむけば八十路うろうろ初明り	無音界百町の田の雪景色	木の陰で木靈をとばす冬の鳥	凍て日三日推稿といふ時間あり	この家も明りともらず年明くる	言い訳は齡に逃げて春近し	山茶花の散りひろがりて野辺送り	小野一雄(下郷)
平成惜む船出かな	春隣	春隣	海望む畦は落葉の椅子となり	ふりむけば八十路うろうろ初明り	百町の田の雪景色	木の陰で木靈をとばす冬の鳥	子戸に春灯の洩れて客のあり	冬籠り地球儀回し旅をする	冬籠り地球儀回し旅をする	高橋作之助(浜の1)	佐々岡美保(中村)
泰枝(釜屋)	水津	河原	おくるみの新人登場春炬熾	梅地眞代(東方)	大倉淑子(上万)	小田衛(宇久)	柳井恵子(平原)	原清穂(伊豆)	原清穂(伊豆)	高橋作之助(浜の1)	佐々岡美保(中村)